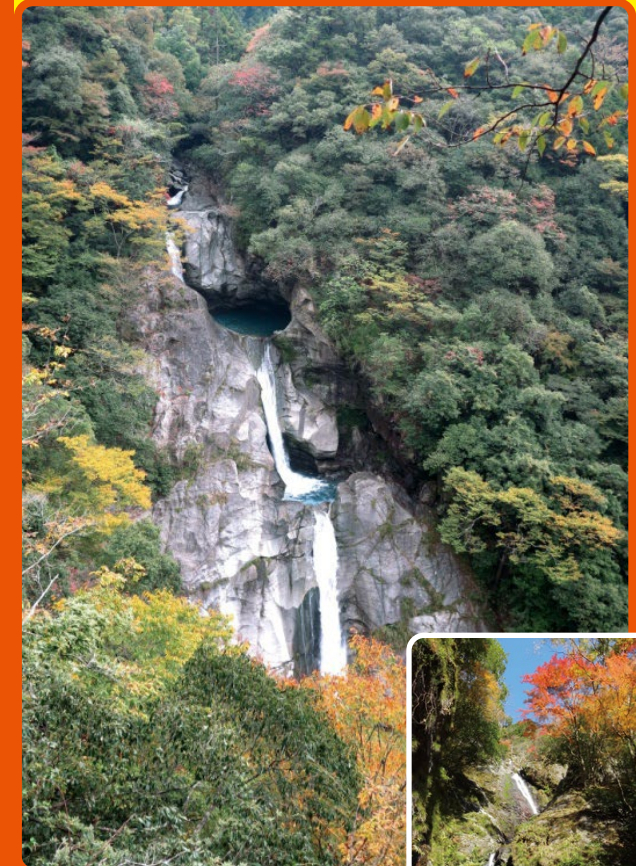


おさんぽマップ



岩屋滝

お問い合わせは
香美市役所 香北支所

〒781-4292
高知県香美市香北町美良布1097
TEL 0887-59-2311(代表)
0887-52-9286(直通)
FAX 0887-59-4204



ふるさと納税



香北支所地域振興班
令和5年7月発行

滝の伝説

轟の滝

昔むかし、源氏の追捕を逃れた平家一門は、ひそかに安徳天皇を奉じて、莖生に隠れ棲んだという。そうした者の一人が余生を猪野々竹ノ木で送っていた。名を三太夫という。女房おてつ御前との間には、今年17歳になる玉織姫がいた。姫は比類のない美貌と、母から譲り受けた類稀なる機織の術を身につけていた。

ある日、姫は機織の道具の一つを返そうと、松久保の村へ一人で出かけることとなった。17年の歳月手塩にかけた姫との、これが永別になるうとは、見送るおてつ御前も誰も知る由がなかっただろう。

奥深き柚ノ木川の急流は轟の滝となって滝壺に激しく叩き入る。姫は最初の橋を渡ろうと足を掛けた。真藍の淵は気味悪く、橋は姫を乗せて奇妙な揺れが続く。漆黒の水底に二つの怪光が旋回しながら浮上したと見る瞬間、姫の身体は橋を離れた。鈍い微かな音が飛瀑と轟音の中に消えたときには、既に姫の姿は水底に消えていた。乙女に恋をしては淵をうかがい出る大蛇の住むことを、土地の人々は語り伝えていたのである。

大荒の滝

昔むかし、二体の竜がひと山東隣の轟の滝にやってきた。ところがこの滝壺には既に大蛇と玉織姫が住んでいたため、別の住処を求めて飛竜となって舞上がった。下界を眺めていると、大岩石が乱立する深淵を見つけ、そこが良かろうとものすごい勢いで舞い降りた。竜はそこに棲みつき、約40mの滝と秋の紅葉、春のツツジをこよなく愛した。この二体の竜が戯れ遊ぶと疾風迅雷をよび、轟音こだまし、周囲の山麓一面荒れに荒れたところから、人々はこの滝を「大荒の滝」と呼んだといわれている。

香北もみじ祭り

滝の紅葉は10月下旬頃に色づき始め、11月中旬頃に見頃をむかえます。滝を彩る紅葉の下、風情あるひとときを過ごしませんか。秋の休日、みなさまお誘いあわせて、是非ご来場ください。

【日程】

11月中旬の土曜日：轟の滝 滝の茶屋前
11月中旬の日曜日：大荒の滝 木馬茶屋前

※日程、内容など詳細はお問い合わせください。
なお、雨天の場合は中止となります。



大荒の滝

【おおあれのたき】



大荒の滝は、轟音を上げて落下する約40mの滝で、雨の多い季節は瀑布に変わり、とても迫力があります。また、秋は一带の山々の紅葉が特に美しく、谷相山の奥深さを満喫できます。

周辺には二本の流れがあわさり豪快に流れる岩屋の滝や、冬季の特に気温の低い時につららのように凍りつくつららの滝があります。遊歩道で結ばれていますので、ぜひ足をお運びください。

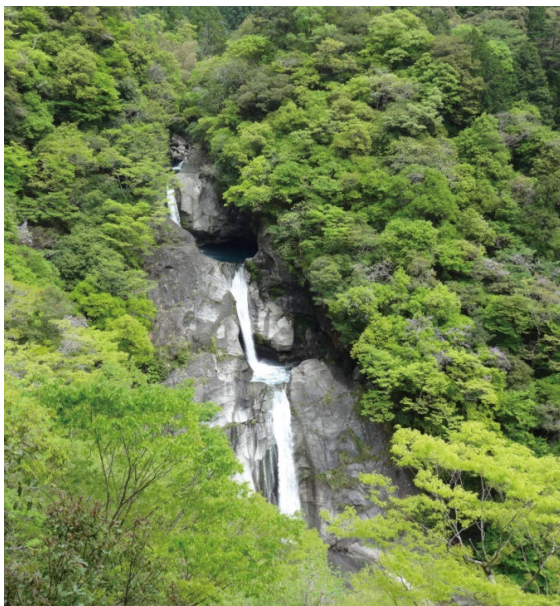
【駐車場】30台(無料) 【紅葉の見ごろ】11月中旬頃

木馬茶屋



紅葉シーズンにあわせて開店します。
おいしいものを食べて、色鮮やかな紅葉をお楽しみください。

※開店日時等、詳細は
お問い合わせください。

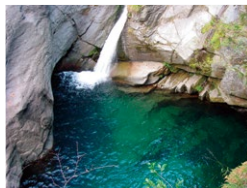


轟の滝

「ごごろのたき」

香美市香北町のシンボルともいえる轟の滝は、物部川の支流にあり、落差 82m（三段）の瀑布が轟音を響かせ水しぶきをあげています。青く輝く滝壺は魔の深淵となって太古の幽玄をたたえ、玉織姫にまつわる平家伝説の哀れな話も伝わります。滝の周辺は春の桜、夏の新緑、また秋は紅葉の景勝地としてにぎわっています。

県の天然記念物及び名勝指定を受け、また、「日本の滝 100 選」にも選ばれています。



滝壺の様子



滝の下から

【駐車場】40台（無料）【紅葉の見頃】11月中旬頃

滝の茶屋



GWや紅葉シーズンにあわせて開店する地元の方のお店です。メニューはおでんやそばなどがあり、自然に囲まれて味わう地元の料理は格別です。
※開店日時等、詳細はお問い合わせください。



所要時間（自動車利用）

- JR 土佐山田駅から JR 四国バス美良布駅まで約 20 分。
- JR 四国バス美良布駅から轟の滝駐車場まで約 30 分。
- JR 四国バス美良布駅から大荒の滝駐車場まで約 30 分。

※大型観光バスは通行できません。



滝のシブキちゃん
©やなせたかし

猪野々
吉井真記念館
溪鬼荘
永瀬

